

日本BS放送株式会社

2024年8月期 第2四半期

(決算補足説明資料)

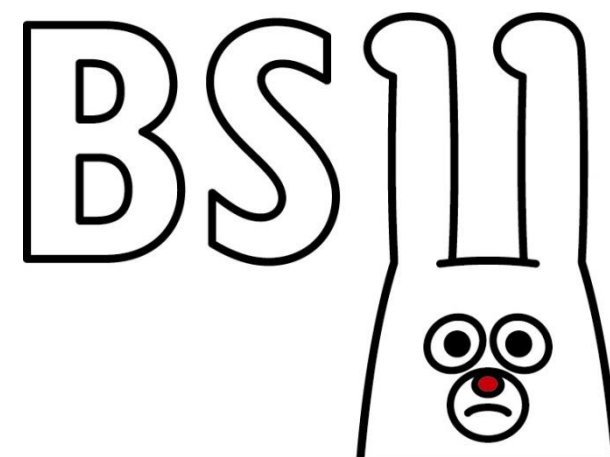
2024年4月4日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P17
IV	(ご参考)会社概要	P21

I 決算概況



2024年8月期 第2四半期(連結)

売上高 **5,936**百万円(前年同期比 1.7%減↓)

営業利益 **927**百万円(前年同期比 16.4%減↓)

2024年8月期 第2四半期(個別)

売上高 **5,547**百万円(前年同期比 3.0%減↓)

営業利益 **920**百万円(前年同期比 19.4%減↓)

売上高は**5,936**百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は**927**百万円（前年同期比16.4%減）、
親会社株主に帰属する四半期純利益は**642**百万円（前年同期比15.0%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第2四半期 累計	2024年8月期第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な増減要因（前年同期比）
売上高	6,041 (100.0%)	5,936 (100.0%)	△1.7%	△104	5,982 (100.0%)	△0.8%	△46	
売上総利益	2,942 (48.7%)	2,768 (46.6%)	△5.9%	△174	— (—)	—%	—	(売上高) ・放送事業収入：△134百万円 ・その他収入：△38百万円 ・その他収入(子会社)：+68百万円
営業利益	1,109 (18.4%)	927 (15.6%)	△16.4%	△182	826 (13.8%)	12.2%	101	(売上原価) ・減価償却費：+143百万円
経常利益	1,109 (18.4%)	930 (15.7%)	△16.2%	△179	826 (13.8%)	12.6%	104	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	755 (12.5%)	642 (10.8%)	△15.0%	△113	570 (9.5%)	12.6%	72	

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2023年8月期末	2024年8月期	
			第2四半期末	前年増減額
流動資産		16,669 (67.3%)	16,977 (68.4%)	307
	固定資産	8,086 (32.7%)	7,829 (31.6%)	△256
資産合計		24,756 (100.0%)	24,807 (100.0%)	50
流動負債		2,018 (8.2%)	1,890 (7.7%)	△128
	固定負債	131 (0.6%)	131 (0.5%)	0
負債合計		2,150 (8.8%)	2,021 (8.2%)	△128
純資産合計		22,606 (91.2%)	22,785 (91.8%)	179
負債・純資産合計		24,756 (100.0%)	24,807 (100.0%)	50

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	691	1,184
税金等調整前四半期純利益	1,109	930
減価償却費	160	300
売上債権の増減額(△は増加)	280	369
仕入債務の増減額(△は減少)	50	22
未払金の増減額(△は減少)	△170	△237
法人税等の支払額	△338	△234
投資キャッシュ・フロー	△799	△9
有形固定資産の取得による支出	△791	△5
財務キャッシュ・フロー	△326	△463
配当金の支払額	△355	△462
現金及び現金同等物の増減額	△434	711
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,022	14,310

売上高は**5,547**百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は**920**百万円（前年同期比19.4%減）、
四半期純利益は**638**百万円（前年同期比19.2%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第2四半期 累計	2024年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前年同期比)
売上高	5,720 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	△172	5,731 (100.0%)	△3.2%	△183	・タイム収入の増加・・・+15百万円 ・スポット収入の減少・・・△149百万円 ・その他収入の減少・・・△38百万円
売上総利益	2,804 (49.0%)	2,577 (46.5%)	△8.1%	△227	— (—)	—%	—	(段階利益) 売上高が前年同期比減 番組関連費用・放送関連費用の 効率的な使用 放送設備償却負担増等による減少
営業利益	1,141 (20.0%)	920 (16.6%)	△19.4%	△221	874 (15.2%)	5.2%	45	
経常利益	1,143 (20.0%)	924 (16.7%)	△19.2%	△219	874 (15.2%)	5.7%	50	《利益減少の具体的要因》 売上原価 ・2022年10月～2023年3月にかけて 実施したスタジオ設備更新に伴う 償却負担
四半期純利益	789 (13.8%)	638 (11.5%)	△19.2%	△151	603 (10.5%)	5.8%	35	

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	5,720 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	5,731 (100.0%)	△3.2%
タイム収入	3,994 (69.8%)	4,009 (72.3%)	0.4%	4,106 (71.7%)	△2.4%
スポット収入	1,314 (23.0%)	1,164 (21.0%)	△11.4%	1,199 (20.9%)	△2.8%
その他	411 (7.2%)	373 (6.7%)	△9.3%	425 (7.4%)	△12.3%

主な増減要因(前年対比)

- **タイム収入**
通販枠の強化・拡充を行い、前年同期比+0.4%で着地
- **スポット収入**
新規取引先の開拓等、セールス活動強化により純広スポットが好調に増加した一方、引き続き市況低迷の影響により通販スポットが減少、前年同期比△11.4%
- **その他**
イベント収入が好調に推移するも、前年同期の人気アニメ作品の出資配当収入反動減により、前年同期比△9.3%

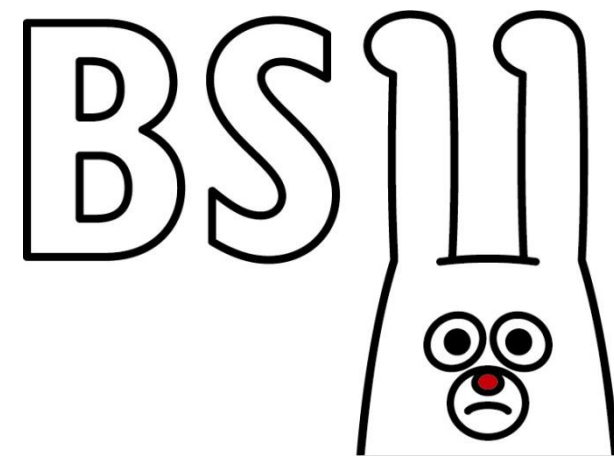
主要費用項目実績（個別）

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,867 (32.6%)	1,830 (33.0%)	△1.9%	
番組購入費	200 (3.5%)	151 (2.7%)	△24.3%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	1,666 (29.1%)	1,678 (30.3%)	0.7%	
放送関連費用(原価)	321 (5.6%)	276 (5.0%)	△13.8%	
放送委託費	264 (4.6%)	254 (4.6%)	△3.9%	
技術費	56 (1.0%)	22 (0.4%)	△59.9%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	413 (7.2%)	406 (7.3%)	△1.7%	
広告宣伝費	387 (6.8%)	380 (6.9%)	△1.8%	
販売促進費	26 (0.5%)	26 (0.5%)	-%	

貸借対照表の概要（個別）

		2023年8月期末	2024年8月期第2四半期末		
			第2四半期	前年増減額	主な増減要因
資産	流動資産	16,103 (66.6%)	16,516 (67.8%)	412	現金及び現金同等物の増加 +658百万円
	固定資産	8,091 (33.4%)	7,835 (32.2%)	△255	スタジオ設備更新に伴う、機械装置ほか減価償却累計額の増加 △215百万円
資産合計		24,195 (100.0%)	24,352 (100.0%)	156	
負債	流動負債	1,567 (6.5%)	1,548 (6.4%)	△19	
	固定負債	127 (0.5%)	128 (0.5%)	0	
負債合計		1,694 (7.0%)	1,676 (6.9%)	△18	
純資産合計		22,501 (93.0%)	22,676 (93.1%)	174	繰越利益剰余金 +174百万円
負債・純資産合計		24,195 (100.0%)	24,352 (100.0%)	156	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、
これら6つの「力」を強化・実践

「6つの力」



「6つの力」を具現化する重点施策を
新たに「Value3」と位置づけ推進





1. コンテンツ価値の最大化

➤レギュラー番組の強化



大晦日に『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』京都編を放送。直後の『おやじ京都呑み』では、太田和彦さんがゲスト出演。

ゴルフ・総合格闘技に加え、新たにスペインサッカーリーグの情報もお届け。

➤ドラマコンテンツの拡充



© Horgos Xinghao Film and Television Co. LTD. All Rights Reserved.



©共同テレビジョン 原作:山崎豊子「白い巨塔」(新潮文庫刊).

➤年末年始の特別編成



© 2024 Warner Bros. Discovery, Inc. or its subsidiaries and affiliates. All rights reserved.

人気のディスカバリー傑作選『名車再生!』の”憧れのスーパーカースペシャル”を特別放送したほか、国内映画下記3作品を特別放送。



©SBS



©New Pictures for Acorn TV and Channel 5, UK in association with All3Media International.



© 1990「天と地」と製作委員会



©2009「沈まぬ太陽」製作委員会



©KADOKAWA 1985



1.コンテンツ価値の最大化

➤特別番組の強化



15周年記念特別番組の反響を受け第2弾を放送。



(株)京都放送との共同制作コンテンツ。



制作:ライブエグザム / 製作著作:BS11
イベント×生/アーカイブ配信×放送と多角的に展開。

➤新規特別番組の制作



国内外で活躍する現代美術家・ヤノバケンジを特別講師に、次世代アーティストの発掘・育成ワークショップの模様を特別番組として放送。

スポーツコンテンツ



中央社 / 共同通信イメージズ

『第30回BFAアジア選手権 野球侍ジャパン 決勝 日本vsチャイニーズ・タイペイ』



世界各国の代表選手が集う世界最高峰の女子ソフトボール「JDリーグ」専門情報番組。



III. 放送周辺事業の強化と発展

➤ アニメ関連番組 毎クール40タイトル以上放送



©春原ロビンソン・ひらけい/集英社・国王軍第三騎士団



©向日英・高上優里子/双葉社・もふなで製作委員会



©藤孝剛志/アース・スター エンターテイメント/即死チート製作委員会



©佐竹幸典・講談社/「魔女と野獣」製作委員会



© Animelo Summer Live 2023

『アニメロサマーライブ2023-AXEL-powered by Anison Days』

今年も大晦日に8月のライブの模様をBS11にて6時間一挙独占放送。

➤ (株)文化放送との協業

リアルイベント



2023年12月23日(土)13時15分開演予定

生配信



2023年12月18日(月) 21:00~

➤ 配信コンテンツ拡充・イベント推進



(株)ADKマーケティング・ソリューションズ、(株)西日本新聞社と共同で『旅は脳活 ゆったり大人旅』を制作。BS11公式YouTubeチャンネル、BS11+にて配信中。



BS11報道ライブ「とことん聞きます〇〇に90分」

『報道ライブ インサイドOUT』に長年出演されたジャーナリスト・二木啓孝さんと、テーマに沿った話題のゲストによる視聴者参加型配信トークイベント。

BS11 SHOP



当社通販サイトBS11SHOPにて『太田和彦 ぶらり旅 新・居酒屋百選』出演の太田和彦さんが書籍用に描き下ろしたイラストを使用した「日本居酒屋遺産」てぬぐいの販売を開始。



1. コンテンツ価値の最大化

➤ 人気ドラマコンテンツの放送



© ITV Studios Limited 1989



© ITV Studios Limited 2015



©2009安倍夜郎・小学館/「深夜食堂」制作委員会



©テレビック



今年は全国各地の最多17局とのコラボレーションを実施。



制作著作:KBS京都/BS11

(株)京都放送との春の共同制作番組を今年もお届け。

➤ 特別番組の強化



『ありがとう！八代亜紀さん！3時間スペシャル』

2023年12月に八代亜紀さんが逝去されたことを偲び、追悼特別番組を放送。



©TOKYO MX/BS11

初の試みとして、(株)東京メトロポリタンテレビジョンとオリジナルドラマを共同制作。



I.コンテンツ価値の最大化

III.放送周辺事業の強化と発展

>U-NEXTとのコラボレーション強化



総合格闘技、ボクシング等、格闘技に特化した専門番組へ。

毎週木曜日よる11時～



韓流セレクション Supported by U-NEXT の第2弾コンテンツとして、『アンダーカバー～君を守りぬく～』を放送。

© JTBC Studios Co., Ltd. all rights reserved. Format devised by Peter Hoffal for the BS11 and distributed by BS11 Studios.

>特別番組の強化



『山中崇のオリジナル・カレー 至福の一杯漫遊記』

本編とは別に、特別コンテンツをBS11+、TVer等の動画配信プラットフォームにて展開。

スポーツコンテンツ



from 佐賀

>イベント推進

REAL TRAUM
貴公子たちの音楽会 Vol.4
NEW SEASON~
浜離宮朝日ホール
2024.4.20 (Sat) 18:00開演

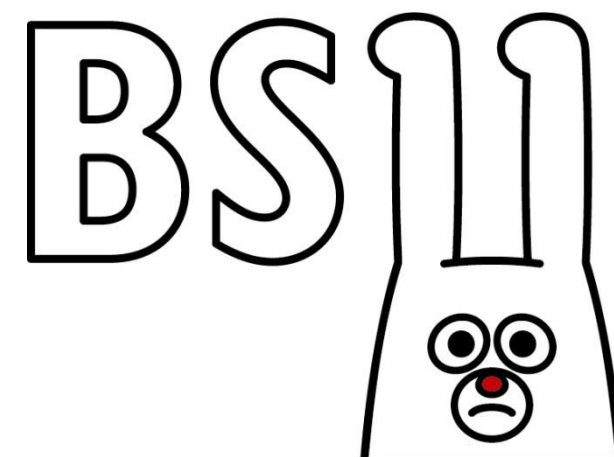
3/30 土
おやじに乾杯! @KBSホール

『おやじ京都呑み』番組発のトークイベントを(株)京都放送・(株)元気な事務所3社で開催。ゲストに『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』に出演中の太田和彦さんが登場。

AnimeJapan 2024
アニメのすべてが、ここにある。
BS11 出展決定!
3/23(土)・24(日) @東京ビッグサイト
詳細は特設ページをチェック!>>

世界最大のアニメイベント「AnimeJapan」に今年も出展。新作アニメの豪華キャスト陣によるトークステージや描き下ろしグッズの販売を実施。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,600百万円(前期比1.5%増)、営業利益は1,910百万円(前期比3.7%減)、

親会社株主に帰属する当期純利益は1,318百万円(前期比4.9%減)を計画

コンテンツ強化等によるコスト増を見込むため前期比減益

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	6,041 (100.0%)	12,417 (100.0%)	5,936 (100.0%)	△1.7%	12,600 (100.0%)	1.5%	182
営業利益	1,109 (18.4%)	1,983 (16.0%)	927 (15.6%)	△16.4%	1,910 (14.5%)	△3.7%	△73
経常利益	1,109 (18.4%)	2,015 (16.2%)	930 (15.7%)	△16.2%	1,910 (14.5%)	△5.2%	△105
親会社株主に帰属 する当期純利益	755 (12.5%)	1,386 (11.2%)	642 (10.8%)	△15.0%	1,318 (10.0%)	△4.9%	△68

売上高は11,900百万円(前期比2.4%増)、営業利益は1,900百万円(前期比3.6%減)、
当期純利益は1,311百万円を計画(前期比3.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,720 (100.0%)	11,625 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	11,900 (100.0%)	2.4%	274
タイム収入	3,994 (69.8%)	8,288 (71.3%)	4,009 (72.3%)	0.4%	8,544 (71.8%)	3.1%	255
スポット収入	1,314 (23.0%)	2,563 (22.0%)	1,164 (21.0%)	△11.4%	2,457 (20.6%)	△4.1%	△106
その他	411 (7.2%)	773 (6.7%)	373 (6.7%)	△9.3%	898 (7.6%)	16.1%	125
営業利益	1,141 (20.0%)	1,970 (17.0%)	920 (16.6%)	△19.4%	1,900 (16.0%)	△3.6%	△70
経常利益	1,143 (20.0%)	1,974 (17.0%)	924 (16.7%)	△19.2%	1,900 (16.0%)	△3.8%	△74
当期純利益	789 (13.8%)	1,362 (11.7%)	638 (11.5%)	△19.2%	1,311 (11.0%)	△3.8%	△51

2024年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

～2024年8月期の1株当たり配当額を前期より4円引き上げ～

配当方針について

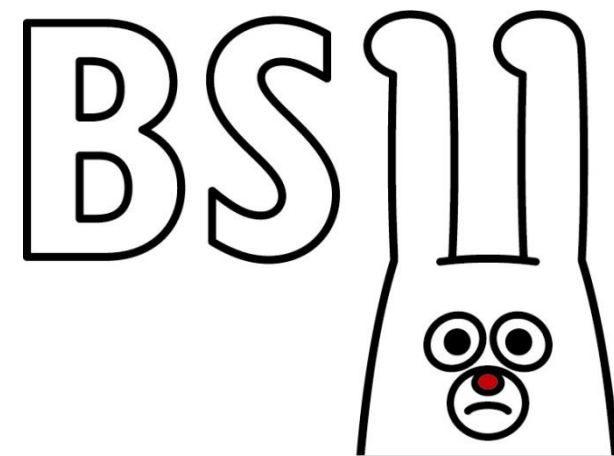
- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期 (予想)
年間配当	18.0 円	19.0 円	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	85.27 円	93.19 円	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	74.01円
配当性向	21.1%	20.4%	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	40.5%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2024年2月29日現在）
従業員数	133名（連結）（2023年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

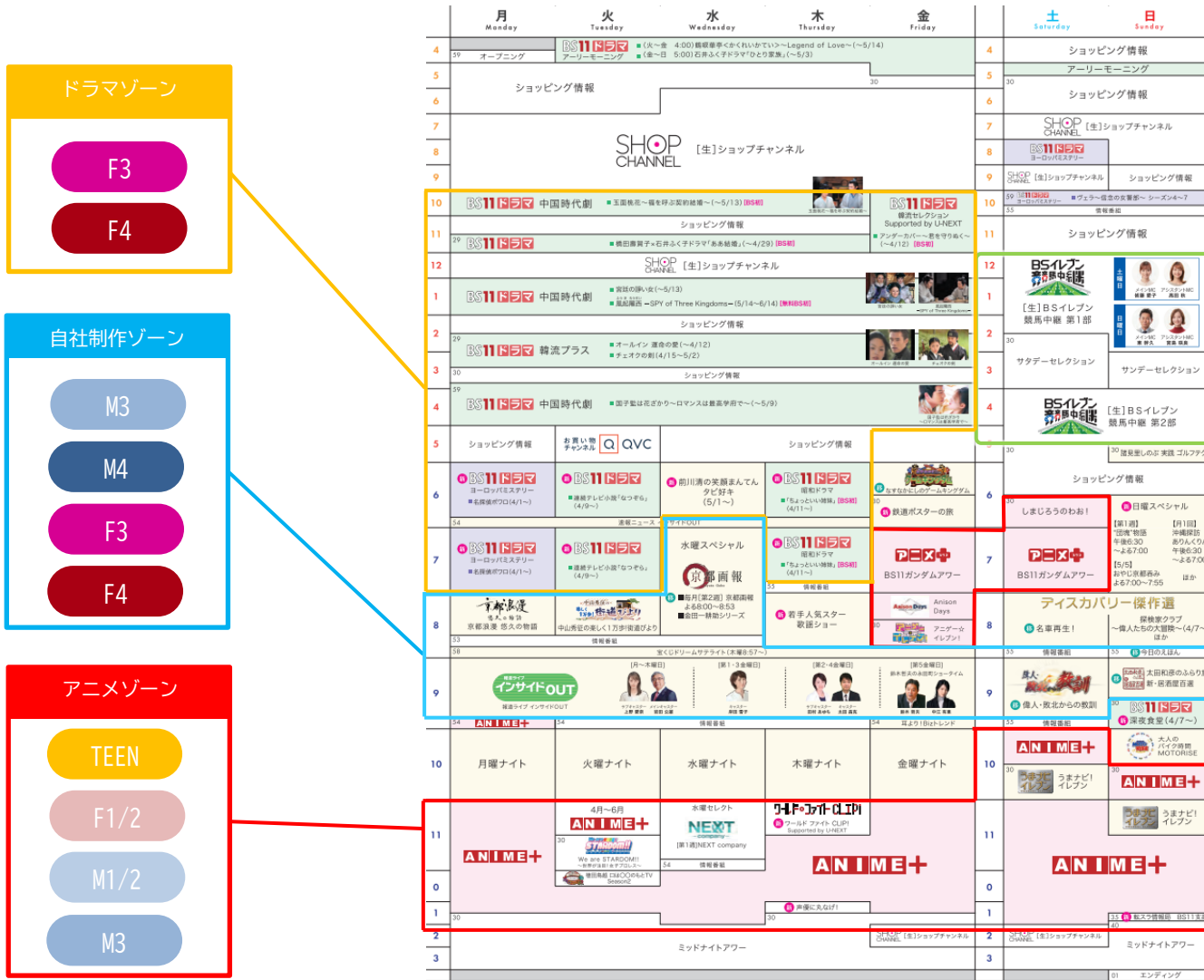
全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS11	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2007年12月		2022年3月			2011年11月
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

BS11の特徴

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が**持てる企画**が可能！

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
 そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する



競馬ゾーン

M3

M4

ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

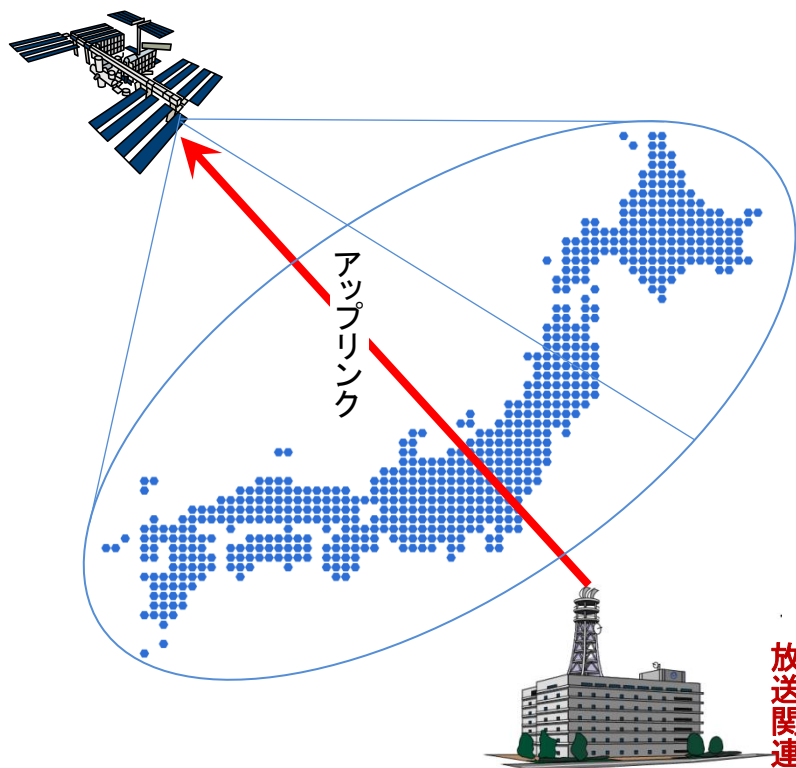
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

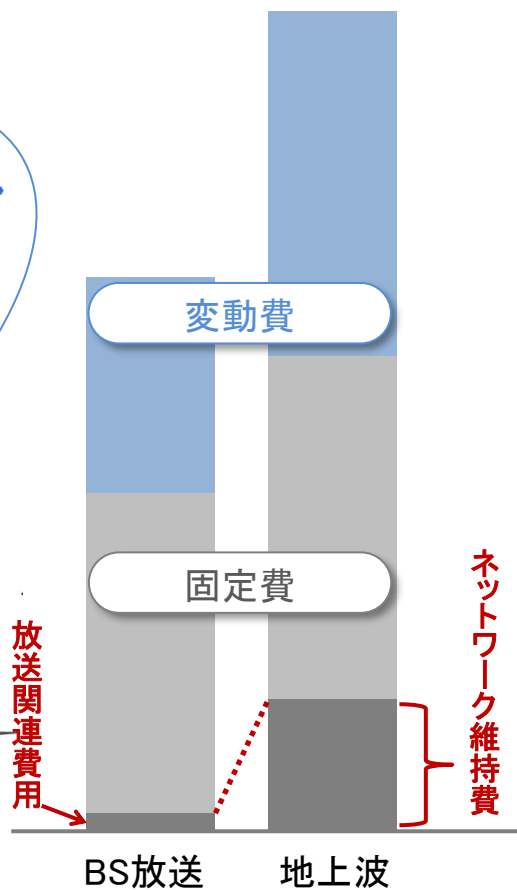
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

